

猛暑にも仰げば秋の高い空 六郎。昨日今日は、我が家の庭にもアキアカネの群れがやって来ました。それでも陽が高くなると暑く、九時半に集会所に入ると、てるみさんのご配慮で机も並び、クーラーも入っていて、生き返った気持ちになりました。皆さんがお元気で、出席者十三名、投句のみの方四名で楽しい句会になりました。小学生の投句はゼロで初めて途切れて残念。 来月の句会は、

十月の句会.. 令和六年十月二十七日(日) 午前十時〜十一時四十五分 集会所

題.. 「不足」 何の不足が出るのやら。

九月の題「重い」から、

\* 二重被災心が折れて気が重い

遊位子

(時を置かずに能登を襲った地震と豪雨には、心が折れて言葉を失う惨事です。被災した人達の中には、生きる術を失って途方に暮れている方が多いと思います。国を挙げて救済しなければ。政争に明け暮れている暇はありません。素晴らしい時事吟に最多の共感が寄せられました。)

\* 体重計片足乗せて様子みる

まゆみ

(無意味とは知りながら、恐る恐るそっと足を乗せる気持ちを上手く表現されました。表現の軽みも川柳の大切な要素だと思います。これぞ川柳で、右の句に次いで共感者多数。)

\* あれこれとやる事あるが重い尻

早苗

(歳の所為にしましょう。皆さんに思い当たる句で共感者多数。事と場合によりますが、嘘まこと、詐欺まで飛び交う世の中なので、尻は重くてけっこう。尻軽はつい軽率になりがちです。)

\* 断捨離の重い心にムチをふり

伸子

(断捨離と言う言葉は、いつごろから流行り出したか分かりませんが、私の広辞苑にはまだ記載されておりません。それにしても言い得て妙の言葉です。断って、捨てて、引き離すには、まず心の整理が要ります。作者の述懐では、ご主人の遺品を捨てきれない心境の句とのこと。捨てないであの世まで持って行って上げてください。)

\* 健康を体重だけできめないで

千恵

(付記の通り、痩せていることが健康ではありません。最近では、栄養失調による病気も多いとか。思

春期の娘さん達には肥満嫌悪があるようですが、女性も餓頭もふっくらが一番。)

\* 亡き父の教えの重さ今に知る

展行

(そんなものですよ。親孝行したい頃には親は居ずです。)

\* 暑すぎて体が重く気も重い

まさひろ

(膝をポンと叩いて賛同したい句です。快適な暮らしを追い求めてきたツケがこの沸騰化ですから、始末に負えません。後世はどうなるのかなあ。)

\* 欲ばったバチなんですな足悲鳴

隆子

(主婦の日ごろの欲張った買い物所の為でしょうと、会場からの指摘に、そうですと作者の応答。ユウモアで受け答え出来る間は未だましですが、主夫業を担って毎日の買い物の大変さを知りました。老いの身には重労働です。この頃は詰め放題の特売は見ませんね。)

\* 昔重く今は軽めの財布です

英代

(昔は札束を持ち歩いてしたが、今は年金生活で財布も軽くなったと解釈しましたが、とんでもない間違いで、キャッシュレスを詠った句でした。我ながら遅れてるなあと実感させられました。)

\* 八十路坂歳がずしりとのしかかる

六郎

(歳をとつても何にもいいことないなあと思っていたのですが、老いの身に近隣の目が暖かいことに気が付き感謝の日々です。)

\* 気がついた重い荷だけど宝物

雅子

(一読して重い荷の宝物とはいったい何だろうと思いました。旦那さんのことかなあ。一般化せずに具體的な表現にすると訴求力がまします。妻介護重い荷だけど宝物。)

\* 果物を艶と重さで見分けする

てるみ

(納得の句ですが、説明調が気になります。結論まで言わないで、果物が艶と重さで訴える。)

\* 年ごとに重くなる家事買い出しが

桐子

(買い出しも、私にとってはレシビも重いです。台所への持ち込みにはお主人の手助け有りとのこと。有難いことです。報告調ですが、年ごとに日々の買い出し重くなる)

\* 備蓄米「今でしょ」逃がした重い腰

しんこ

(机上の数字に拘る官僚。それを鵜呑みにする閣僚。後手ばかりの政策で米の値段はうなぎのぼり。考えさせる時事吟です。)

\* 殺す人命の重さどこにある

和博

(戦争は命を消耗品と考えます。平和な社会の中でも人命が軽くなりました。)

\* 小兵ちびのくせ巨漢ほんろうズンデンドウ

憲郎

(体重別のない体のぶっつき合いが相撲の醍醐味です。大人と子供くらいの対格差も何のその、巨漢を転がす技の切れ味は実に小気味よい。今は立ち合いの一時で勝負がきまると言われますが、双葉山は待ったをせずに受けて立っていたようです。これが本当の横綱相撲。)

\* 母に似てデブにならぬようエアロする

洋子

(エアロが洋子さんの体形維持の秘訣だったんですね。ダンスも進化してブレイキンは五輪の種目になりました。ここまで激しい動きになると大人にはむりでしょう。孫の一人が面白い「〇二」と言って夢中のよ

のよ  
うです。一方芸人ではデブを売りにしている人もいます。世は様々。)

\* 夫つま誘う重い買い物あるからと(今やあなたが大将)

早苗

\* 円安でずっしり重い金の価値(庶民には別世界の話。金齒を入れてる人はご用心。)

まゆみ

\* 彼あれやこれは重い吐息の又値上げ(貧乏人は麦を食えと言いつつ放った首相もいたな。)

しんこ

\* 白菜のつけもの好きで重しする(白菜の美味しい季節が待ち遠しい。)

洋子

\* 果物を手に取り重い方かごへ(果物選びのこつ。ジュウシーで実が詰まってる。)

千恵

\* 孫だっこズンと重さが成長を(成長が手に伝わり、実感。)

展行

\* ダンスでね重い体が軽くなる(昔取った杵柄。軽やかなステップが蘇よみがえる。)

雅子

\* 思い出の物を捨てるの気が重い(思い出が消える淋しさ。)

英代

\* 筋力を増して重くなる体(相手に与える圧力が倍増。お相撲さんの理想像。)

てるみ

\* 身重の時と同じ体重太りすぎ(貫禄が出てきました。)

桐子

\* 年取れば体が重い気も重い(体重過多は膝に来る。要注意。)

遊位子

\* 世直しのかかった一票棄てないで(若者に呼び掛けたい。先の世は君たちが主役)

憲郎

\* 気が重い断る理由見つからず(人望あるが故の依頼事でしょう。受けましょう。)

隆子

\* 重くなる臉なだめてする読書(受験生並みですね。蛍雪時代が懐かしい。)

伸子

\* 絆ほど重いものなし宝物

まさひろ

(難しい問題ですが、国是として戦争を放棄したのに、このところの強気の軍備強化には危うさを感じます。軍拡競争に励むよりも、どの国とも粘り強く平和の絆作りに励みたい。人間同士の信頼の絆は本当に宝ものです。まさひろさんの示唆に富む句を今月の締めに載じます。)